



プロジェクト名称

団地サテライトラボ

プロジェクト活動概要

本プロジェクトは、学生が主体的に活動を行う場所の提供や活動自体の支援を行うことを目的とし、団地にサテライトラボを設置することで学生たちが大学以外でフィールドワークを行う支援をしていく。昨年度までは原市・尾山台団地の高齢者を対象にした体操やウォーキング活動を中心とした活動を通し、団地の方々とのつながりをつくり、活動の基盤を築くことができた。

今年度は学生の学外活動と団地全体の活性化の手助けから、団地住民また周辺地域と芝浦工業大学の学生を繋げることを中心に行う。サテライトラボ上尾を活用により学生と住民が密なコミュニケーションを図ることができ、地域のニーズをつかみやすい環境となっている。また、今年から芝浦工業大学で採択された地の拠点整備事業とも連携し地域住民への情報発信共有拠点として活用している。

活動状況報告 & 活動写真など 活動期間：2015 年 1 月 1 日 ～ 3 月 31 日

本年度は“団地住民との学生のつながりづくり”と“学生の学外活動の支援”を中心に取り組んでいる。なかでも1月から3月の間では“地域住民との交流”を中心に行ってきた。今年から以前より交流のあった白樺団地との連携・支援も行ってきた。

・白樺団地での取り組み(餅つき大会)

白樺団地は原市団地の北に位置し、約100世帯の戸建住宅からなる団地である。問題点として原市団地同様に高齢化が問題として挙げられる。

今回初めての取り組みとして、餅つき大会の支援を行った。地域の子供達との交流や取り組みの対象地域の拡大へと繋がり、今後はこのようなイベントを四半期に一度はやっていきたいという声があった。また、今後は大学の様々なサークルと連携してみたいという声もあった。





・カレー菜園

隣接するコープみらい・自治会と連携し、自治会より畑を借り食育を目的とした菜園活動を行った。食と栽培と交流から住民に楽しみを提供し、食と農を通じた緑のネットワークの形成を図っていく。今回は第一回目として畑を耕し、ジャガイモの植え付けを行った。これらの取り組みに関しては大学院での演習にて提案されたカレー菜園に対し、コープみらい・自治会からの賛同より実施に至った。



・サテライトラボ上尾の定期開放(11月～現在)

団地住民との交流・サテライトラボの認知度の向上を目的としラボの開放を行っている。平日を中心にメンバーがラボに滞在し、運営・住民対応を行ってきた。高齢者が大半である。学生が普段からラボにいることでより認知度を高めよりメンバー一人ひとりが住民との交流や地域に入り込みことができる。

サテライトラボ上尾の周辺環境として、サテライトラボの設置当初は団地内に位置する店舗に空きが見られていたが、今年から使われていなかった店舗が再び全て埋まろうとしている。そのため、より一層の地域連携の下の活性化を行っていく必要がある。

今後の活動計画、目標、意気込みなど

○カレー菜園

今後は季節に応じ、カレーの具材の植え付けを行っていき、畑を通じた地域住民との収穫祭や食事会を行っていく。また、団地内の既存イベントとの連携し、地域住民へ浸透させる。

○原市寺子屋

中学校との打ち合わせを行い、来年度より原市中学校と協力し原市寺子屋を実施していくことが決まっている。勉強を教えていくといった切り口を活かし、本学の学生が交流の機会を増やしていけるように展開していきたい。

○定期的イベントの実施

活性化を目的とした学生の学外活動のイベントのみならず、地域・団地住民間での定期的なイベントといったものを確立させる。